

(公社) 日本給食サービス協会会長賞

『かぼちゃスープ』

福岡県飯塚市立幸袋小学校 六年三組 男子 津之下 健汰

ぼくの一番の給食の思い出は、五年生のときに食べた「かぼちゃスープ」です。大好きだった担任の先生が苦手な食べ物がかぼちゃだったからです。

給食にかぼちゃが出ると、みんなで先生の器にいつもわざとたくさん入れていました。特に「かぼちゃスープ」が出ると、

「先生のおわんにいっぱい入れよう。」

とこっそり言い合って、入れた後は、みんなでじっと先生のを見ていました。すると先生は、つがれたスープを苦笑いしながらもすっかり食べていました。ぼくたちはその様子をくすくす笑いながら見ていました。先生がまだ手をつけていないときは、誰かが見かねて、先生の器からかぼちゃを取り出して食べてあげたりもしていました。

五年生の春休みが終わってひさしぶりに学校へ行くと、先生がぼくたちの教室になかなか来られないので、不思議に思っていました。すると別の先生が、教室に入ってきたら、ぼくたちの担任だった先生は別の学校に転にんされたことを教えてくれました。そのときは何のことか分からずただ驚き、しばらくしてショックを受けました。泣いている人もいました。先生との突然の別れでした。

先生はぼくたちとバスケットやバレーをしたり、鬼ごっこもしたりしてよく一緒に遊んでくれました。もちろん叱られたこともありました。それは、NRTというテストで、平均点が一番低かったときや音楽の音符や記号のテストで点数が悪かったとき、くつ箱チェックの取り組みで他のクラスに比べてポイントが少なすぎたりしたときなどは、先生にもものすごく叱られました。ぼくたちのやる気のなさを叱り、「もつとやれるはず。」と励ましてくれていました。叱られても、先生のやさしさは分かっていたし、いつも大声で笑う姿が、ぼくは大好きでした。みんなも同じ気持ちだったと思います。

だから四月のお別れ式で久しぶりに先生と会ったときには、みんなが大泣きしてしまっていました。先生も泣いていました。このときのことは、心に強く残ることになりました。

六年生になった今、給食に「かぼちゃスープ」が出ると、なんだか複雑な気持ちになります。ぼくはかぼちゃが好きなのですが、この「かぼちゃスープ」を食べるときは、五年生のころ先生にいたずらしてくすくす笑いながら食べたことやつらかった突然のお別れのことを思い出します。おいしいメニューなのに、先生との思い出がよみがえってくるからです。

これから先もきつと先生のことを思い出しながら、この「かぼちゃスープ」を食べることになるでしょう。